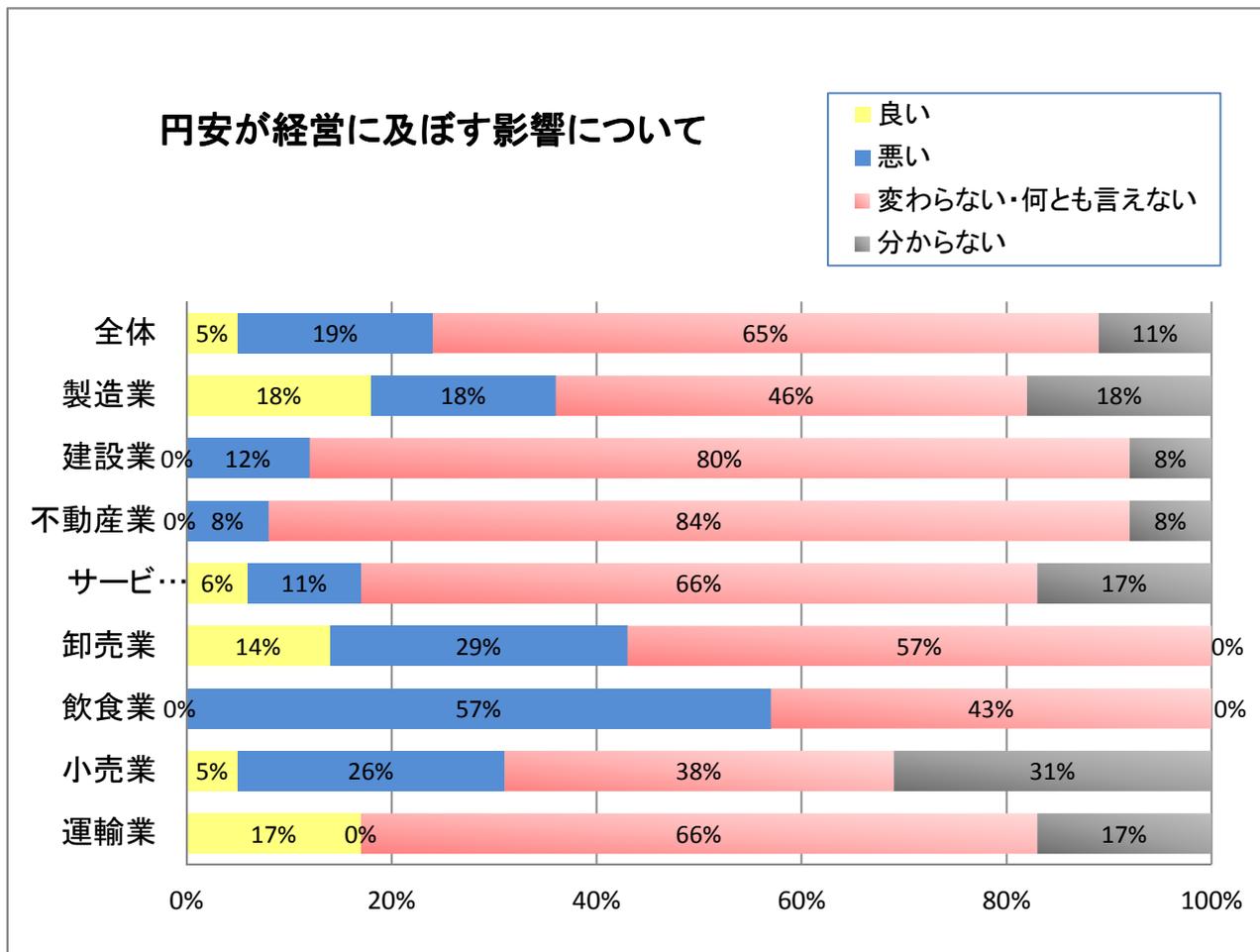


調査4 円安が経営に及ぼす影響について

全体的には、76%が「変わらない・何とも言えない」、「分からない」との回答であった。業種で見ると、運輸業で17%が「良い」影響を受け、「悪い」影響は0%であり、その主な要因として「取引先企業が輸出企業の為、物量が増加」とあった。円安が「悪い」影響を受けているのが、飲食業(57%)で「仕入材料の高騰」がもっとも大きな要因となっている。

平成26年7月～12月期間の為替レート 1ドル=101.15～121.41円



■円安が及ぼす主な「良い」影響について

- ・外国人客の増加
- ・国内生産の増加
- ・増収効果(輸出企業)
- ・取引先企業が輸出企業のため、物量の増加

■円安が及ぼす主な「悪い」影響について

- ・仕入、資材、原材料の高騰